

持続型農業生産技術分野 この一年

持続型農業生産技術分野長 助教 平田統一

平成26年度持続型農業生産技術分野は、滝沢農場に作物、園芸、機械、農産製造グループを、御明神牧場に産業動物グループを設け、教育・研究・エクステンション活動を行ってきました。近年は毎年のように異常気象が心配されますが、今年度は大きな被害も無くおかげさまで当初事業計画に見合った活動、成果を得て締めくくることができました。平成25年8月9日に雫石町を襲った豪雨によって損壊した一ノ渡橋は、文部科学省や大学のご努力、ご配慮により今年度中に復旧する予定です。

滝沢農場では例年通り本学農学部学生だけでなく、教育学部附属特別支援学校、盛岡大学短期大学部、岩手県立みたけ支援学校など、学内外の学生、生徒を対象に実習を行いました。農学部全新入生を対象とした総合フィールド科学実習も上田の西下台圃場で技術職員による指導を含め実施しております。また、西政佳さんが「水稻乾田直播栽培における既存機械を用いた作業体系の確立」科学研究費補助金(奨励研究)に採択され、技術職員による研究活動も活発に行われています。

御明神牧場では、10月22日に収穫祭が開催されました。日頃FSCの活動を応援いただいている学長先生を始め大学役員、農学部のFSC運営委員やFSC兼任教員、事務局・農学部の事務職員の方々をお招きし、牧場で生まれ育成された雌若牛のお肉を

使ったバーベキューをメインディナーとして卓を囲み、今後のFSCのあり方等について意見交換が行われました。

日頃、学生や市民、教職員等に事故、怪我がないように留意して安全な実習・研究・エクステンション活動を心がけていますが、今年度は体調不良により長期入院を余儀なくされた職員ができました。大学の配慮により、業務補助のためのパートをすぐに採用することができたことから大きな支障は生じませんでした。今後いっそう職員の健康管理、学生や市民の安全に留意して、事故が無いように活動して参ります。

最後に間近に迫る当分野の課題について一言付言いたします。当分野では平成27年度末に教員と技術職員各1名が退職予定です。前述したように、特に滝沢農場では多くの実習を担当しておりますが、教職員補充が滞りますと当分野の教育機能に支障が生じます。大学当局、農学部には教員や技術職員の補充について特段のご配慮をお願いするものです。



収穫祭 御明神牧場にて

循環型森林管理技術分野 この一年

循環型森林管理技術分野長 教授 澤口勇雄

岩手大学演習林は、山岳林における持続的森林経営モデル林を標榜する御明神演習林(1905年設置、1,040ha)と、都市近郊林における森林環境教育モデル林を標榜する滝沢演習林(1913年設置、281ha)で構成されています。それぞれが独自色を育みながら運営され、2名の専任教員と9名の技術職員の体制で教育、研究、エクステンション活動を進めています。百年をこえる伝統で培ってきた素晴らしい森林フィールドと高い専門技術集団により支えられている演習林は、目指す方向性において、我が国大学演習林のなかでも、特異な立ち位置に 있다고考えています。

大学演習林の存在の第1意義は、林学・森林科学に関する高等教育のための実習と研究の場であり、そのことに奉仕することに異論は誰しもないでしょう。ただ、日々の職務活動を通じて、各々の大学演習林の目指している方向性は微妙に異なっています。それぞれが目指す方向は少し違うのですが、そのことがかえって全国演習林の存在の多様性を高め、より意義深く、奥の深い存在にしているものと思います。

岩手大学演習林の主な対象はもちろん森林科学分野の学生です。森林科学分野を専攻する学生の多くは、共生環境課程森林コースに所属されています。この森林コースは、盛岡高等農林学校創設(1902年)以来の伝統である実践的な森林管理技術者の養成という理念に沿い、今日に至るまで3,000人余の森林・林業技術者を全国に輩出してきました。このような背景も有り、現在も森

林管理技術者の養成をめざす教育が行われ、日本技術者教育認定機構(JABEE)からプログラム認定を受け、卒業後は修習技術者として社会に旅立ちます。

演習林では、このような岩手大学における森林科学教育を支えるために、特に、林業生産技術の発展に組織として貢献できるように、日々技術の研鑽に励んでいます。このような取り組みは、岩手県内はもちろん東北地域における先進的林業生産技術の実践フィールドとして地域で高く評価されており、今年度で49回を数えたフォレストテクニカルエクステンションなどの研修会を通じて結実しています。東北森林管理局や県庁などの公務員の森林・林業技術者のみならず、フォレストリーダーやフォレストワーカーといった現場林業技術者も技術研修に多く訪れています。岩手県のみならず東北地方における林業生産技術の基幹的な研修施設として、大きく飛躍した1年でした。大学の有する資源である「人」、「森林」を地域へ還元し、このような活動によりえられた成果を大学教育にフィードバックさせることで、教育の実際化が深められています。



ハーベスタ間伐作業

平成26年度 エクステンション活動一覧

職業的専門家(経営者・技術者等)を対象とするもの

- | | |
|--|------------------------|
| ① 第11回 森林マルチエンジニア養成アドバンススクール | H26. 5月19日(月)～5月23日(金) |
| ② 第38回 フォレストテクニカルエクステンション -人工林施業プログラム(2)- | 8月6日(水) |
| ③ 第39回 フォレストテクニカルエクステンション -地域林業支援プログラム(4)- | 8月25日(月)～8月29日(金) |
| ④ 第40回 フォレストテクニカルエクステンション -循環型森林管理技術普及プログラム(10)- | 8月29日(金) |
| ⑤ 第41回 フォレストテクニカルエクステンション -地域林業支援プログラム(5)- | 10月15日(水)～10月16日(木) |
| ⑥ 第42回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(24)- | 10月27日(月)～10月28日(火) |
| ⑦ 第43回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(25)- | 11月4日(火)～11月7日(金) |
| ⑧ 第44回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(26)- | 11月5日(水)～11月6日(木) |
| ⑨ 第45回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(27)- | 11月10日(月)～11月11日(火) |
| ⑩ 第46回 フォレストテクニカルエクステンション -人工林施業プログラム(3)- | 12月10日(水) |
| ⑪ 第47回 フォレストテクニカルエクステンション -地域林業支援プログラム(6)- | 12月16日(火)～12月17日(水) |
| ⑫ 第48回 フォレストテクニカルエクステンション -地域林業支援プログラム(7)- | 12月24日(水) |
| ⑬ 第49回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(28)- | H27. 1月19日(月)～1月20日(火) |

一般市民・児童生徒を対象とするもの

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| ① イーハートブの森と家づくりフォーラム 植林体験 | H26. 5月11日(日) |
| ② 第124回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(17) | 6月1日(日) |
| ③ 第125回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(34) | 7月8日(火) |
| ④ 第9回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」 | 8月30日(土)～8月31日(日) |
| ⑤ 牧場体験「搾乳をしてみよう」 | 9月20日(土)～9月21日(日) |
| ⑥ 第126回 フィールドセミナー 親子シリーズ(15) | 11月16日(日) |
| ⑦ 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」 | H27. 2月15日(日) |
| ⑧ 第127回 フィールドセミナー 親子シリーズ(16) | 3月29日(日) |

センター開放的事業

- | | |
|----------------|---------------|
| ① ブルーベリー摘み取り販売 | H26. 7月16日(水) |
| ② ブルーベリー摘み取り販売 | 7月23日(水) |
| ③ 第11回 森の駅市場 | 8月7日(木) |
| ④ 第12回 森の駅市場 | 11月28日(金) |

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6234

E-mail:fsciu@iwate-u.ac.jp http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/